

3月戸田市議会定例会が閉会

一般会計予算に賛成 中学生の給食無償化などを評価



3月26日、2025（令和7）年3月戸田市議会定例会が閉会しました。日本共産党戸田市議団は、25年度戸田市一般会計予算に賛成し、24（令和6）年度戸田市一般会計予算補正予算及び25年度戸田市水道事業会計予算に反対しました。各討論の要旨は次の通りです。

むとう葉子議員が、25年度戸田市一般会計予算に賛成討論しました。

●要旨

25年度予算要望書を菅原市長に提出し、市民の要望に応えた予算となるよう求めてきました。予算要望書を作成するために実施した市民アンケートでは、回答者の約6割が以前より生活が厳しくなったと回答しています。11月末には市民団体と一緒に集めた学校給食

無償化署名を市長に手渡し、懇談に立ち会いました。各常任委員会の審査では、長引く物価高騰のなか厳しさを増す市民生活にどう応えるかといった視点に立ち、各種施策と予算を審査しました。25年度の予算編成は過去最高の予算額で、市税収入は前年度より8億3351万9000円、2・7%増を見込んでおり、市民要望に十分応えられるものです。

●評価した事業

*非核・平和事業

戦後80周年となる8月に長崎で行われる第11回平和首長会議総会、第13回国内加盟都市会議総会、そしてナガサキ平和祈念式典へ参加。ふるさと祭りで平和に関する紙芝居を実施し、子

一般会計補正予算に 反対

むとう議員

むとう葉子議員が、24年度戸田市一般会計補正予算（第9号）に反対しました。今回の補正予算は、財政調整基金に38億5619万2千円を積み立て、24年度末の財政調整基金の残高は82億7439万8千円です。本市の予算編成において、当初予算で財政調整基金を取り崩していますが、

年度末には、多額のお金を残し、財政調整基金に積むということを繰り返している結果、財政調整基金の残高は年々増えています。財政調整基金は、震災の時や市税が減少傾向にある時などに使うものであり、一定額を積み立てることは理解できますが、自治体の財政運営は単年度主義が原則です。また、コロナ禍から市民生活は不安定になり、コロナ収束前からの物価高騰が続いており、光熱

費や食料品等の生活用品の値上がりは留まるところがなく、賃金の上昇が物価高騰に追いついておらず、年金生活者や子育て世帯等には、生活不安で先行きが不透明のままです。議会でも、様々な議員が市民の声を届け、市民サービスの向上を訴えているにも関わらず、これだけの金額を何年度末に残すならば、市民生活にもっと充てられるべきだったと考えることから反対しました。

*子どもの居場所事業

東部福祉センターで週3回、小、中、高校生を対象に、塾に行けない子ども達に対する支援を充実させる。

*放課後等児童健全育成事業

児童保育室に障害児の受け入れ枠を2室増やす予算が計上され、障がいのある子どももいない子ども、放課後、本市で安全に過ごせる場所を整備。状況の確認と共に、埼玉県との連携を要望。

*物価高騰対策

プレミアム付き商品券の発行。

*消防職員人材育成事業

消防士の大規模自動車運転免許取得に対する半額補助。免許取得時間を公務時間として保障することを求める。

*学校給食の無償化拡大

25年度から中学生に対する学校給食の無償化が実現。小学生まで拡大することを要望する。

*市民医療センター外来の充実

小児頭痛、小児起立性調節障害の外来予約枠を拡大する。

●要望した項目

☆生活困窮者自立支援事業

は、市民サービスの後退とまらないよう仕様書の見直し、相談員の質の向上。☆年金生活をしている高齢者に対して、敬老祝い品の増額。

☆戸田市公共交通計画は交通弱者に対応する計画に。☆防災対策の強化、防災訓練の改善。

☆教育委員会において、普段から不登校児童生徒を増やさない為にも、カウンセラーを各小中学校に配置。☆市民医療センターの小児精神外来の予約枠の拡大。

☆迅速な物価高騰対策。

民主戸田

No.1886
2025年4月5日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議団ホームページ
QRコード
※市議団HPは現在
更新準備中です

戸田市議会3月定例議会

水道値上げ回避を

本田議員の一般質問

3月定例議会における本田哲議員の一般質問の要点は以下の通りです。

(本田) 戸田市は、2025年4月から水道料金を平均33・66%値上げする。物価高騰で生活の厳しさが増している市民、事業者には大変重い負担となる。①2025年度の値上げ総額は②生活保護受給者等への減免規定の創設を③一般会計を繰入れ、今回の水道料金値上げ分の負担回避をすべきではないか。

(答弁) ①本料金改定に伴う収益増は、5億8236万6千円と推定。②他の水



道使用者の負担が増加することになることから、減免規定を設けることは考えていない③公営企業法の規定等を踏まえると困難。

(本田) 一般会計からの繰入れを視野に入れた減免規定の創設を求める。水道事業は、料金収入等で事業を行う独立採算制が原則だが、例外的に一般会計から公営企業会計への経費を支出することができ、基準外繰入金を活用できると考える。コロナ禍、国の交付金に一般会計からの繰入れを上乗せし、上下水道基本料金の減免が実施された。一般会計からの繰入れは可能であり、市民の命とくらしを守るべき。

一部外国人犯罪の取締強化の意見書

党市議団は反対

19日に開かれた議会運営委員会にて、「一部の外国人による犯罪の取り締まり強化を求める意見書」(政策TODA提出)を国に提出するかが問われ、日本共産党戸田市議団が反対し、国への意見書提出とはなりませんでした。

意見書は、戸田市や近隣

2025年度水道事業会計予算

一般会計からの繰入れで水道料金値上げの負担回避を

本田哲議員は日本共産党戸田市議団を代表し、25年度水道事業会計予算に反対しました(以下要旨)。

4月からの水道料金値上げを知った市民から、「物価高騰が続くなか、なぜ今、水道料金の値上げなのか」「これ以上の生活の切り詰めはできない。水道料金の引き上げは止めて」等の声が多数寄せられました。

今回の値上げで、5億8236万6千円の負担増と

市で外国籍の住民が増えていること。一部の外国人が犯罪や事件を起こしていることを引き合いに、警察官の増員、犯罪の取り締まり強化などを求めるものです。議会運営委員会では本田哲議員は、「事件や犯罪への対応は、法治国家である日本において国籍関係なく対応されるべきで、事件・犯罪を未然に防ぐためのパトロール等の強化も必要と考えるが、今回の『一部の

市で外国籍の住民が増えていること。一部の外国人が犯罪や事件を起こしていることを引き合いに、警察官の増員、犯罪の取り締まり強化などを求めるものです。議会運営委員会では本田哲議員は、「事件や犯罪への対応は、法治国家である日本において国籍関係なく対応されるべきで、事件・犯罪を未然に防ぐためのパトロール等の強化も必要と考えるが、今回の『一部の

外国人』を対象とした意見書の提出には賛同しかねる」と、意見書提出に反対しました。各会派の態度は以下の通りです。

◆意見書提出に反対

*共産党：本田哲、むとう

葉子、花井あきこ

*りつけん戸田：小金沢優

◆意見書提出に賛成

*戸田の会：酒井いくろ

う、浅生和英、佐藤太信、

野澤茂雅、宮内そうこ、

小沼さゆり、辺見智子

*政策TODA：遠藤英樹、細田昌考、そごう拓也、古屋としみつ、小山大輔

*公明党：竹内正明、石川清明、三輪なお子、三浦のお

*保守の会：河合ゆうすけ

*新時代：渡辺るい

◆意見書提出に調整を求めた

*平政会：榎本守明、斎藤直子

化することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする」と定めています。安全・安心な「水」の供給はもちろん、「公衆衛生」向上と誰もが等しくその恩恵を受けられる環境を整備することは言うまでもありません。

コロナ禍では、感染症対策として手洗い・うがいの習慣化が徹底されました。今回の値上げが、手洗い・うがいをはじめ、日々の生活における入浴、洗濯、掃除など、また、市内事業者等の営業も含め、「公衆衛生

生」上必要な様々な行為を妨げることになりかねないと危惧するところです。

地方自治法第1条の2で、「住民の福祉の増進を図る」と定められている趣旨を鑑み、一般会計からの繰入れを行い、今回の水道料金値上げを回避すべきです。コロナ禍では、国からの交付金に一般会計からの繰入れを上乗せし、上下水道基本料金減免が実施されました。補正予算で財政調整基金に38億円も積める戸田市の県内一豊かな財政を活かし、市民の命とくらし、そして「公衆衛生」環境を守るべきと考えます。